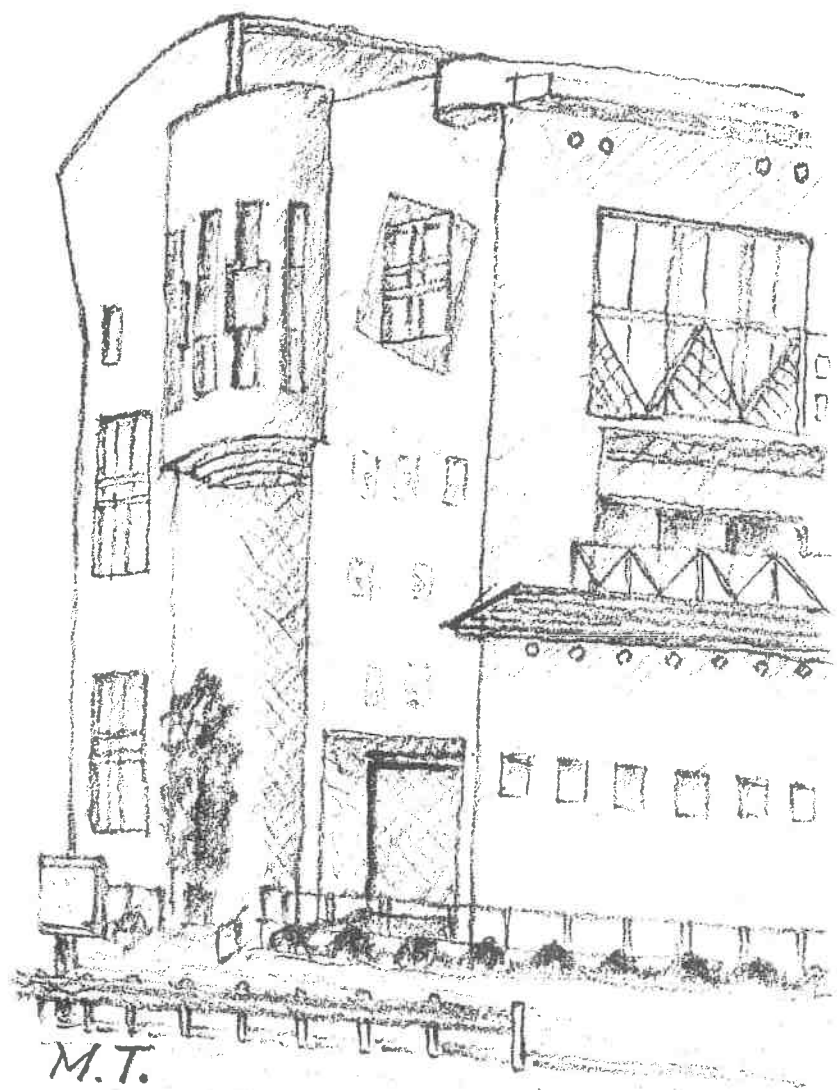


ふれあい 雪谷

平成九年

新年号



【仲池上児童館】 樽村昌安さんの作品

区立施設紹介(仲池上児童館)

あそびはこどもの栄養源

児童の数が減少し続けるなか、子育てもむずかしくなっています。このような状況にあって、児童館では、児童の健全な育成を図るため、様々な活動を行っています。子供達は、遊びを通し、創造の喜びを知ることができます。また、異年令の仲間との交流により、社会性を身につけることができます。

ここ仲池上児童館は、昭和45年に開館しましたが、平成8年4月に改築となり、区内で最も最新の設備をもった児童館に生まれかわりました。建物は仲池上保育園と併設で、3階と屋上が児童館です。館内はどの部屋も明るく、天井の高い遊戯室は広々としており、バスケットゴールが取り付けられています。多目的室は児童の健全育成に関する会議に、夜間お貸しできるようになっています。

主な行事には、こどもまつり、いも堀り、一輪車乗り、工作、七宝焼、映画会そして劇団公演などがあります。

日々の活動として、午前9時を過ぎると幼児とお母さん方の交流の場となり、11時15分から「わんぱくタイム」がはじまります。午後は主に小学生が姿を現わし、ボール遊び、ゲーム、手芸など思い思いに楽しんでいます。中学生も水曜や土曜には、バスケットゴールめざして遊びに来ます。

その他「学童保育室」には、ランドセルをしょって小学校1年～3年生が帰って来ます。現在41名おりますが、一般の子供達と一緒に大いに汗を流しています。

常時5人の職員が、育成指導に取り組んでいます。悲喜こもごもの毎日ですが、子供達の笑顔を糧として、今後も趣向をこらしてゆきたいと思います。是非一度ご家族でお立寄りください。お待ちしております。

(館長 岸里子)

編集後記

◇ 地域の方々の御寄稿に支えられて、創刊以来七年目を迎えられましたことにまず感謝申し上げます。

◇ 洗足坂の記事のように、昔の有様や、御自身が体験されたことなどの、お話をお寄せください。

◇ 皆様に楽しんでいただける話題を、探して、スタッフ一同、今年も新たな気持ちで出発します。

(東雪 直井和子)

〔発行〕 わがまち大田雪谷地区推進委員会

〔編集〕 ふれあい雪谷編集委員会

連絡先 雪谷特別出張所内

大田区東雪谷四―三―二三

電話三七二九―五一二七

〔発行日〕 平成九年一月一日

通巻 第二十五号

……まちかど……

東調布公園温水プールで

平成四年四月。ここ南雪谷の地に待望の東調布公園温水プールが完成しました。



この年、五・六月の二か月間、大田区主催のシルバー水泳教室が開催され、終了された方の中から、このまま水泳を続けたいとの声が上がりました。そこで、有志の方々の賛同によって自主運営のクラブとして発足したのが、私達の「悠泳会」です。

設立総会で会則も作られ、入会は原則として五十歳以上の女性とし、「健康で明るく豊かな楽しい老後を築く」をモットー

に、同年九月から四十名の会員さんと活動を開始しました。泳ぐことにより、水の特質である浮力や水圧抵抗を利用し、心肺機能、筋力向上を図ります。また、中高年に多い骨粗鬆症、腰痛、関節痛を防ぐために、アクアエクササイズを取り入れました。現在、六人の指導員のもと、毎週木曜日の午後の二時間、和気あいあいの内に、百三十名となった会員さんと共に水泳を楽しませて頂いています。

(悠泳会 西村 佳子)

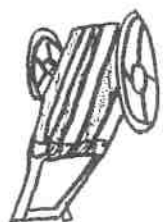
散歩道

洗足坂

名のいわれはいうまでもなく洗足池から来ている。池の辺りから六中前を通り、洗足坂標示板辺りまでが坂である。

この坂のある中原街道は、江戸開府間もなく新規に拓かれたそうだ。

坂の思い出としては、神田や赤羽の市場に野菜を運ぶ大八車の姿。当時(大正10年頃)は今のように自動車ではなく人が引く大八車。洗足坂に限らず坂は大変。ことに夏野菜時は、野菜を満載しているの、1人では無理。後押しが付き、掛け声を掛



け合いながら押し上げていったのを思い出す。

池に接する道は池の堤防を兼ねていた。池に近い坂下辺りには、万屋商店・唐物屋・駄菓子屋・掛け茶屋・釣り具屋・床屋・農家や長屋も点在するといった田園集落の風景であった。自動車が渋滞する今日とは隔世の感がある。

現在の大森六中の校庭のところに、洗足軒と名付けられた勝海舟の別荘があった。

(池の台 醍醐昇 89歳)

(東雪) 水野 喜久